

【景観事前協議 自主チェック表】 ★当チェックリストは、事前協議時に最低限検討して頂く内容です。

建築物

地域（場所）によっては、下記のほか配慮が求められるものがあります。

□ 建築物の景観形成基準

No	景観形成基準	基準内容
1	外壁等の色彩	<input type="checkbox"/> 色彩定性・定量基準に合致すること。（強調色・アクセント色の使用面積制限に注意する。） <input type="checkbox"/> 建物単体の配色及び周辺建物との関係において、色彩の対比が強くなるよう配慮すること。
2	屋上設備の修景	<input type="checkbox"/> 屋上設備（室外機、キュービクル、補給水槽、発電機等）は、設備の高さまでルーバーやパネル等で4面囲うことにより、水平方向から見えないよう目隠しすること。 <input type="checkbox"/> 屋上の目隠しは、周辺の建築物群の高さから突出した高さとならない様、最大でも4m以下で計画すること。 <input type="checkbox"/> 太陽光パネルの設置角度が5°を超える場合、背面及び側面をパネル等で囲うことにより、水平方向から見えないよう目隠しすること。 <input type="checkbox"/> 目隠し方法について、ルーバーや格子は、開口率50%以下もしくは芯ピッチ50mm以下とすること。ガラスの場合は乳白フィルム、すりガラス等で遮蔽率50%以上（透明系NG）とし、ガラスの向こう側が見えないようにすること。植栽（自然木に限る）の場合、水平方向は設備範囲、高さは徒長枝が設備高さまで達するように配置すること。※街路に面する設備やバルコニーの目隠し方法も同様とする。
3	街路に面する設備の修景	<input type="checkbox"/> 外構や外壁の公共空間から見える場所に設置する設備（パットマウント、ダクト、ベントキャップ等）は、目隠し、植栽により修景すること。
4	バルコニーの設え	<input type="checkbox"/> バルコニー内の室外機及び洗濯物は、水平方向から見えないように修景すること。 <input type="checkbox"/> 住宅用途のガラス手摺の場合は、見合い等に配慮し、室外機や洗濯物等が無い場合でも、乳白フィルム、すりガラス等で遮蔽率50%以上（透明系NG）とし、ガラスの向こう側が見えにくくすること。
5	屋外階段、機械式駐車場の設え	<input type="checkbox"/> 公共空間から見える階段は、ルーバーや塗装、リン酸処理等により、建物と一体的な意匠となるよう計画すること。（亜鉛メッキ鋼板そのままの使用はガラついて見える為NG） <input type="checkbox"/> 機械式駐車場を屋外に設置する場合は、最上部の車のタイヤの高さまで、ルーバーやパネル等により目隠しすること。
6	見合い	<input type="checkbox"/> 隣接する建物との見合いに配慮し、開口部の位置や大きさに配慮すること。 <input type="checkbox"/> 住宅用途を建築する場合は、道路や公共施設に面する側面の窓は全面開口にしないこと。
7	外構部の設え	<input type="checkbox"/> 道路路面の外構については、周辺街並みに配慮し、タイル素材・石材・ブロック素材等を採用すること。 <input type="checkbox"/> 駐車場や駐輪場は、公共空間から見えにくい位置、意匠とすること。
8	緑化	<input type="checkbox"/> 在来種にする等、樹種の選定に配慮し、周辺の景観との調和を図ること。 <input type="checkbox"/> 中高木は在来種で計画すること。（NG樹種例：シマトネリコ、ブラシノキ等）

【景観事前協議 自主チェック表】

★当チェックリストは、事前協議時に最低限検討して頂く内容です。

地域（場所）によっては、下記のほか配慮が求められるものがあります。

屋外広告物

□ 屋外広告物（サイン）の景観配慮事項

No	景観形成基準	基準内容
1	規模や位置、 大きさ	<input type="checkbox"/> 近景、中景、遠景など距離による見え方に合わせた配慮をすること。中景、遠景から見える場合は目立たないようにすること。 <input type="checkbox"/> 文字サイズは必要以上に大きくしないこと。 <input type="checkbox"/> 壁面利用広告物や突出広告物の高さを揃える、整えること。
2	デザイン	<input type="checkbox"/> 歩行者等が歩きやすく快適なスケール感とすること。 <input type="checkbox"/> 人物や飲食物等の大きな（表示面の過半）写真は控えること。 <input type="checkbox"/> 直接的な価格訴求は避けること。 <input type="checkbox"/> 水着や胸部の露出、暴力や犯罪を助長させるもの、残酷な描写、わいせつ性を連想・想起させるもの、ギャンプル等を肯定するもの、青少年の人体・精神・教育に有害な影響を与えるものなどは避けること。
3	色彩	<input type="checkbox"/> 高彩度色（暖色系では彩度10超、寒色系では彩度8超）の大面积（表示面の過半）での使用を避けること。 <input type="checkbox"/> コントラスト差が強いデザインを避けること。（例：黄色と黒など）
4	素材	<input type="checkbox"/> 地域特色を踏まえた計画とすること。 <input type="checkbox"/> 素材の特徴を活かしたデザインとすること。
5	照明・光	<input type="checkbox"/> （原則）内照式（文字等の部分のみ）又はバックライト式とすること。 <input type="checkbox"/> 中高層部に設置する光源は、白色系とすること。 <input type="checkbox"/> 柔らかく上品な光とするよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 営業終了時間や終電時間には消灯するよう配慮すること。

【景観事前協議 自主チェック表】 ★当チェックリストは、事前協議時に最低限検討して頂く内容です。

デジタルサイネージ

地域（場所）によっては、下記のほか配慮が求められるものがあります。

□ デジタルサイネージ（許可区域）の設置に関する景観配慮事項

No	景観形成基準	基準内容
1	音声	<input type="checkbox"/> 原則、出さないこと。
2	規模や位置、大きさ（表示面積）	下記大きさ（表示面積）については、1建物あたりを表す <input type="checkbox"/> 秋葉原駅周辺エリアの中央通りに面する部分 【中高層部：上端部高さ10m超～20m以下】視認性に配慮した最低限の表示面積とすること。 【低層部：上端部高さ10m以下】10㎡以下 <input type="checkbox"/> 秋葉原駅周辺エリアの周辺道路に面する部分【低層部：上端部高さ10m以下】10㎡以下 <input type="checkbox"/> 秋葉原駅周辺以外のエリア：ガイドラインエリア別表記に則り、原則、設置（しないor避けるor控える）こと。設置できることとなった場合も、表示面積は10㎡以下を目安とすること。 <input type="checkbox"/> サッシと高さや幅を揃える等、壁面への収まりに配慮すること。
3	明るさ	<input type="checkbox"/> 夜間は昼間と同じ出力では明る過ぎるので、周辺の明るさ（時間や場所、季節）に応じて輝度を調整する。 <input type="checkbox"/> 低層部は昼間最大1500cd（直射日光が当たる場合は2000cd）以下、夜間最大800cd以下とすること。
4	表示内容	<input type="checkbox"/> 歩行者等の安全や健康が確保されるように、派手な色彩、過度な発光や点滅、激しい動きは避ける。特に道路沿いは、歩行者だけでなく自動車運転者等に対して眩しさや幻惑が生じないように配慮する。 <input type="checkbox"/> 信号交差点付近は信号機と誤認されないように、できる限り設置しないようにする。なお、信号機付近に設置する場合は、信号機と同じ色彩（赤、青、黄）や、信号機よりも高い輝度は避ける。 <input type="checkbox"/> 背景色に明度の高い白を使うと輝度が上がり見え難くなるため、ライトグレー、オフホワイト又はアイボリー等により明度を抑えること。 <input type="checkbox"/> 展開の速い動画は控え、静止画を織り交ぜたものとする。必要に応じ、映像を表示しない時間を設け、環境映像等、直接的な広告要素のない時間も取り入れること。
5	点灯時間	<input type="checkbox"/> 営業時間外や終電時には消灯するよう配慮すること。
6	情報量	<input type="checkbox"/> 広告物の情報優先順位をつけて、他の広告板含め表示内容を整理すること。

【景観事前協議 自主チェック表】 ★当チェックリストは、事前協議時に最低限検討して頂く内容です。

特定屋内広告物

地域（場所）によっては、下記のほか配慮が求められるものがあります。

□ 特定屋内広告物（サイン）の景観配慮事項

※特定屋内広告物とは、建築物の開口部に設けられた窓ガラス、ガラス扉その他これらに類するものの内側（開口部から離れているものも含む）において、常時又は一定の期間継続して屋外の公衆に表示するものをいう。

No	景観形成基準	基準内容
1	規模や位置、 大きさ	<input type="checkbox"/> 建築物の外観を損なわない規模やデザインとすること。 <input type="checkbox"/> 中高層部（3階を超える部分又は地盤面からの高さが10m以上の部分）では使用しないようにすること。
2	デザイン	<input type="checkbox"/> 色数や情報量を最小限に抑え、すっきりとしたデザインとすること。 <input type="checkbox"/> 歩行者等が歩きやすく快適なスケール感とすること。 <input type="checkbox"/> 物や人物、飲食物等の大きな写真は控えること。
3	色彩	<input type="checkbox"/> 高彩度色（暖色系では彩度10超、寒色系では彩度8超）の大面积（表示面の過半）での使用を避けること。 <input type="checkbox"/> コントラスト差が強いデザインを避けること。（例：黄色と黒など）
4	デジタルサイネージ	<input type="checkbox"/> 屋外広告物（デジタルサイネージ）の配慮事項に則ること。